

茨城いのちの電話

つくば
029-855-1000
相談電話



水戸
029-350-1000
相談電話

第 98 号 2018 年 12 月

放
さ
る
こ
と
が
あ
る
言
葉
で
か
ら
書
き
500

特集：LGBT を知るために

性の多様性とセクシュアル・マイノリティ	2～4
第 35 回全国研修新潟大会報告／公開講座 I	5
ご支援ありがとうございます	6～7
コラム／受信状況	8

性の多様性と セクシュアル・マイノリティ

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

河野 禎之



はじめに

マスメディアでの報道等を含め、「LGBT」という言葉を私たちが見聞きするようになって久しい。そこでは当事者や専門家をはじめとした様々な立場の人々が、人権や家族、あるいは企業の人事といった様々な文脈の中で議論を交わしている。しかし、そこで「LGBT」に関する情報は必ずしも正しいものではなかったり、一方的なものであることが少なくない。そして、さらに複雑なことに、「LGBT」を含めたセクシュアル・マイノリティに関する文脈では「何が正しいのか」のコンセンサスを得ることが困難であり、そのため部外者だと感じている第三者にとって何が論点なのかも分かりにくい状況にある。

筆者は、これまで筑波大学でセクシュアル・マイノリティの学生及び教職員に対する相談窓口を担当するとともに、大学の基本理念や対応ガイドラインの策定に関わってきた。本稿では、これらの経験に基づいて、セクシュアル・マイノリティに関する誤解や偏見を克服するために最低限理解しておくべき知識とポイントについて述べたい。

性の多様性

セクシュアル・マイノリティについて考える時に、個人的に最も重要だと感じることは「マイノリティだけ」を取り出して「特別に扱う」のではないという考え方である。言い換えれば、人の性とは多様であり、その中には多数派も少数派も含めた様々なバリエーションが存在するという事実を、まずは認識することが重要である。

表1は、セクシュアリティ（性の有り様）を表現したものである。セクシュアリティの要素については議論の余地は残るが、概ね次の5要素が主なものとして扱われることが多い。それらは、①性自認または性同一性（Gender Identity）、②身体的性（Sex）、③性指向（Sexual Orientation）、

④性表現（Sexual Expression）、⑤出生時に割り当てられた性（Assigned Sex）の5つである。性自認（または性同一性）は、自分の性別をどのように認識しているか（アイデンティティを有しているか）であり、身体的性はいわゆる生物学的な性別を意味する。性指向はどのような性別を好きになるかという方向性のことであり、性表現はどのような性別として振る舞うか（自己を表現するか）という要素である。最後に、出生時に割り当てられた性とは、ほとんどの場合は戸籍上の性別を意味する。

「性別」と一言で表しても、その構成要素は少なくともこれら5つ（以上）から成るのである。また、これらの要素は、出生時に割り当てられた性（戸籍上の性）を除き、すべてにおいて濃淡があり、両極にある「男」と「女」の間をとりうる。性の多様性とは、これらの組み合わせが人それぞれに存在するということである。たとえば、いわゆる多数派の人（セクシュアル・マジョリティ）は①②④⑤が同一（男性の場合は「男性」）であり、③が自認する性とは異なる性（異性愛、男性の場合は「女性」）となる。このように多数派も、ほとんどの場合は無自覚であるが、バリエーションの一つとして性の多様性に含まれるのである。

表1 セクシュアリティの要素

① 性自認または性同一性（Gender Identity）
② 身体的性（Sex）
③ 性指向（Sexual Orientation）
④ 性表現（Sexual Expression）
⑤ 出生時に割り当てられた性（Assigned Sex）

セクシュアル・マイノリティとは

では、セクシュアル・マイノリティとはどのような人々を指すのか。表1に基づけば、多くの場合、男性同性愛を意味するゲイ（Gay）は①③が男性であり、女性同性愛を意味するレズビアン（Lesbian）は①③が女性である（性自認／性同一性は厳密には同定が難しく、本人が体験している性に対して同性かどうかを判断することもある）。また、両性愛を意味するバイセクシュアル（Bisexual）は③が男性／女性ともに当てはまる。診断としての性別違和（以前の性同一性障害）は、①②が異なることが本人にとって苦痛な状態であることを基礎とし、より広義の概念であるトランスジェンダー（Transgender）は、⑤で割り当てられた性から別の性へ越境（トランス）した／しようとする人々を指す。これらのいずれにおいても、①から⑤のその他の要素は人によって異なる。ほかにも、性自認が明らかではないとする X ジェンダー、セクシュアリティが流動的あるいは模索の段階にあることを意味するクエスチョニング（Questioning）といった、様々なバリエーションが存在する。

これらの用語の説明も今後の議論により変わっていくが、重要なことは、人間は単純に「男と女」という一軸の二元論では本来説明できない存在であり、多数派も少数派とされる人々も、等しく人として現に存在しているということを認識することである。なお、性の多様性について理解と共感を表明する人（当事者／非当事者の区別なく）をアライ（Ally）と呼ぶ。アライの輪を広げていくことは、当事者にとって安心できる環境を整えていくという点で非常に大きな意味を持つ。

セクシュアル・マイノリティを巡る誤解と課題

筆者の経験から、特に多数派の人々の持つ誤解や課題として、以下のようなものが挙げられる。

・性「指向」は「嗜好」ではない

性指向の「指向」は、英語の「Orientation」が意味するように、たとえば、恋愛対象が異性に向くのか、同性に向くのか、あるいはともに向くのか／向かないのかといったように、関心の向く「方向」の話であり、決して個人の趣味や嗜好の範囲の話ではない。多くの異性愛者が「気づいたら異性が好きだった」ように、「気づいたら同性のことが好きだった」というのが同性愛当事者の多くの感覚である。カミングアウトした同性愛者に対

して、「それはあなたの趣味だから」とか「私はそういう趣味じゃない」というのは、そもそも次元のずれている話である。

・トランスジェンダーは「性別違和」ではない

上述のとおり、トランスジェンダーはより広義の概念であり、医学的な診断である「性別違和」は、その一部の人々を指すに過ぎない。出生時に割り当てられた性を越境（トランス）する理由は、性別違和に限らないのである。また、「性同一性障害の人は性別適合手術を必要としている」と誤解する人も多い。性別違和であってもすべての当事者が性別適合手術を望んでいるわけではない。どのような対応を望むのか、どのような生き方を望むのかは人により異なる。性別違和をカミングアウト（セクシュアリティを自らの意志で開示すること）した当事者と出会った時、気づかないうちに「この人は性別適合手術を受けたいと思っているに違いない」と思い込んでしまうことがないようにしたい。くわえて、性自認／性同一性について「気づいたら男性／女性だった」と多数派が感じるように、性別違和の当事者は「気づいたらその性だった」という感覚であり、「なぜあなたは自分のことを体とは異なる性だと感じるの？」と聞くことも、そもそも次元のずれている話である。

・同性愛は「精神疾患」ではない

アメリカ精神医学会のDSMやWHOのICDといった疾患の診断基準において、1980年代頃まで同性愛は「精神疾患」として位置づけられていたが、1990年代に入る頃には完全に削除されている。しかし、未だに同性愛を「精神疾患」として治療の対象と誤解している人が、特に高齢の世代に少なくない。一方で、最近の若い世代に当事者が多いと一般的に思われているが、実際には高齢の世代にも同性愛者は同様に存在する。しかし、上記のように昔は「精神疾患」として治療（あるいは矯正）の対象とされたことを考えれば、とてもカミングアウトできる社会状況ではなかったことは想像に難くない。なお、性別違和（性同一性障害）についても、ICDの最新版であるICD-11では「性の健康に関連する状態」として扱われ、精神疾患から外れる（脱病理化）方向で進められている。

・アウティングに注意する

自分のセクシュアリティを開示することを「カミングアウト」と呼ぶが、一方で個人のセクシュアリティを本人の了解なく暴露することを「アウティング」と呼ぶ。アウティングには、本人の意図しない形で第三者に開示される場合も含まれる（例：性別情報が記載された名簿が一般に公開される等）。アウティングは当事者の心情をひどく傷つけ、自殺という最悪の結果を招くこともありうる。そのため、その防止が強く求められている。セクシュアリティに関する情報は、基本的にプライバシーな情報であり、個人の秘密である。当然、保護される／取扱に注意を要する情報となる。個人の秘密が侵害されることになれば、会社や学校等ではハラスメントの対象となることも認識する必要がある。

・「LGBT」という言葉の意味を知る

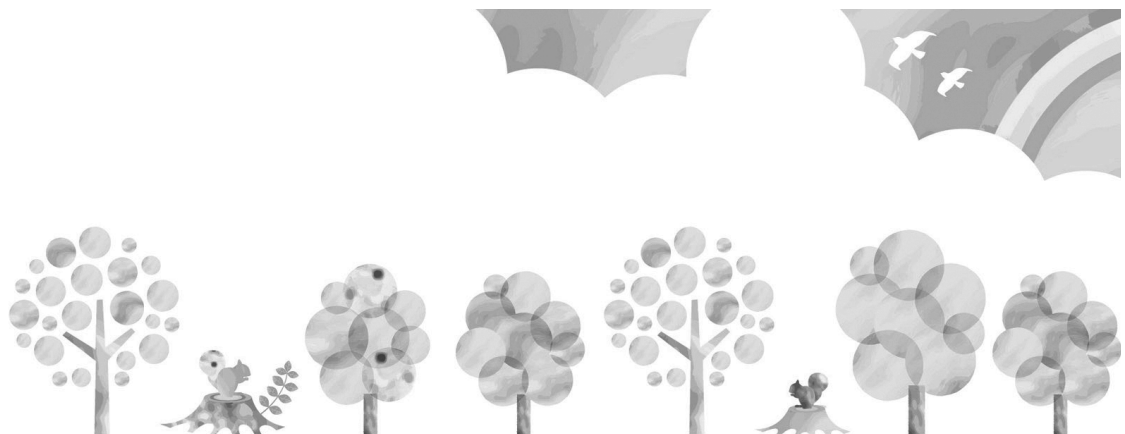
「LGBT」という言葉はセクシュアル・マイノリティ全般を指す言葉として用いられることが多いが、厳密にはレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーのみの頭文字をとった言葉であり、その他のセクシュアリティの人々が除外された表現であるという批判も根強い。また、「LGBT」とひとまとめに表現することで、根本的に次元の異なる「LGB」と「T」が同じような状態として同一視されやすいことも指摘されている（「LGB」は基本的に性指向の次元であり、「T」は性指向の次元の話ではない）。これらのことから、LGBT 以外の状態を含めた表現として「LGBTQ」や「LGBT+」と表現することもある。また、多数派も含めた性の多様性を表現する言葉として、性指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の頭文字をとり「SOGI」と表現することもある。特に SOGI は、性の多様性の

バリエーションを表現できるため、最近では使用されることが増えている表現である。

多様性（ダイバーシティ）を推進する意義

現在、セクシュアル・マイノリティへの対応が声高に叫ばれている理由の一つとして、差別や嘲笑の対象としてこれまで不利益を被ってきたという経緯や、そのために自殺やメンタルヘルスでのリスクを有する当事者が少なくないこと等から支援の必要性が高いという理由が挙げられる。このことは非常に重要な観点であると同時に、筆者が当事者との出会いの中で感じることは、セクシュアル・マイノリティの人々は「かわいそう」な「特別な人」であり「支援しなければならない」対象ではないということである。考えてみれば当然のことであるが、セクシュアリティに関わらず、そもそも私たちは一人ひとりが様々な才能や特性を持つ、かけがえのない価値を有する存在である。それが、「セクシュアル・マイノリティである」ということだけで差別され、その価値を発揮できない状況にあるということは、私たちの社会全体にとって大きなマイナスである。したがって、支援する側／される側という二項的な構造ではなく、様々なセクシュアリティの人々がともに社会に参加するという包摂的（インクルーシブ）な構造のイメージを共有することが重要であろう。

セクシュアリティに限らず、社会は多様な人々で満ちている。多様性（ダイバーシティ）を推進することは、人々の持つ違いを排除につなげることなく、それぞれの個人が価値ある存在として生きていける社会の実現を目指すことである。そう考えれば、セクシュアル・マイノリティが特別な存在ではなくなり、当たり前存在となる日が来るよう、取組を進めていくことが必要なのだろう。



第 35 回いのちの電話相談員 全国研修新潟大会報告

平成 30 年 10 月 18 日～20 日に「いのちつながれ大河のように～孤立社会といのちの電話～」と題して、ホテルオークラ新潟とユニゾンプラザにて開催されました。

1 日目基調講演第 1 部は作家・僧侶の家田莊子氏「この世に生まれ、生きて、生かされて」。第 2 部は史佳氏・高橋竹育氏親子による津軽三味線を奏しながらの対話形式「三味線と生きる～人生の絶望から救ってくれた母の一言～」

2 日目は 20 の部会に分かれてのプログラムがあり、3 日目は「自殺総合対策大綱といのちの電話」と題してのシンポジウム（本橋豊・自殺総合対策推進センター長、清水康之・ライフリンク代表、福島昇・新潟こころの健康センター長、堀井茂男・日本いのちの電話連盟理事長）でした。

ここ新潟を流れる日本一の長い信濃川は日本海へと流れます。そしてここには良寛さま。



越後の名主の庄屋に生まれ、父は自死、弟の 1 人は学僧となり行方知れず。もう 1 人の弟は庄屋の家督を譲られたものの、訴訟に負け追われる身。一方良寛様は病気がちで、門付け乞食こつじきの行者。人の悩みを聴く、「こころ」を聴いて歩く。自由に精一杯に生きたとされています。まさに「いのちつながれ大河のように」とされた新潟大会でした。

次の第 36 回大会は岡山で、「～かけよう心を つなぐ橋～」のテーマのもとに 2019 年 10 月 24 日～26 日に開かれます。(K.S.)

2018 年度 厚生労働省補助事業 公開講座 I

茨城いのちの電話では、今年度も一般の方を対象とした自殺予防の啓発を目的として、第一回公開講座を下記要領で開催いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

- 日 時 2018 年 12 月 8 日 (土)
14:00～16:00 (開場 13:30)
- 会 場 茨城県立図書館 視聴覚ホール (水戸市三の丸 1-5-38)
- 演 題 「愛する人を失うということ、その再生」
- 講 師 大西 秀樹 氏 埼玉医科大学国際医療センター教授
- 定 員 160 名 事前申し込み不要 入場無料
(満席の場合はお断りする場合があります)



お問い合わせ先:

社会福祉法人 茨城いのちの電話

つくば事務局 TEL: 029-852-8505 (平日 9:00-17:00)

水 戸事務局 TEL: 029-244-4722 (平日 12:00-17:00)

当日連絡先 070-4000-1484

＊きれいは、きたないピダハン＊

ピダハン（以下P）、アマゾンの狩猟採集先住民、その手の人々が持つであろうと想像される慣習をぶったまげる程くつがえし、生活中的微笑み・笑い時間が圧倒的に長く、自殺も鬱もない世界一幸せな人達なんじゃ。キリスト教布教者で言語学者であったD.エベレット（以下D）が著書「P」で紹介した。Dにとって人生で一番大切なことはキリスト教で、先住民の言語を習得し聖書を翻訳し布教するを生業としておった（過去形！）。ところがPに遭うて話せる程になり、自らの母の自殺からキリスト教により救われたという、それまでは必勝布教法であった涙話をしたとこで、大爆笑！「この世に自分を殺す（自殺という言葉はない）人間がいるなんて信じられん」と。キリスト教の話をして「奇跡、神、天国、そんな迷信あるわけないじゃん、だって見てないもん」と。Dは七転八倒悩みぬき、人がよくやる自らの信仰がまだ深くないからだとか神からの試練だとかの自己保身的正当化には至らず、キリスト教徒よかPの方が幸せだし、ええやんと無神論者にくら替えする。すごい、第一人生のDは死んで第二人生始まったやん、勇気に拍手！逆にカチンコチンの無神論者がしーあわせな有神論宇宙人に遭遇して変わっちゃうんも面白いな。

ほんでは、なんでPは幸せなんかな？ 危険が多い生活にあっても「心配（未来をわずらう）」という語はない。若者は答えを捜さない、答えは、ある（経済成長した未来はなく、今と同じ）。他の先住民がもつ便利な商品への欲望もない。直接体験の原則（神と言われても会わなきゃ信じない）。数字はない（一般化せずに一期一会：つまり子供はA、B、Cがいるんであって3人ではない、BはAの代わりにならないから数字では表せない）。言葉の入れ子（人の乗った象が歩く）がない（世界の多層性、主観・客観区別がない…今ここのみ）。大人・子供は対等、子供という言葉はない。体罰もない（Dが娘にお仕置きしようとしたらPたちがずーっとつきまとってくるもんやから、できんくなったとさ）。赤ちゃんが刃物で遊んでケガするもあり、それで学ぶ。そやから、どこかの国みたいな共依存もない。創世神話も儀式もない。そして、とにかくおしゃべりが大好きで笑ってばかり。強引に想像するに宗教のような目的的人生ではなしに、「徘徊猫」のように今のみを生きている。すると結果（ねずみ=幸せ）は、あとからついてくる。

さあて不幸な現代人はPに学んで新たな人生を始めるってできるんやろか？ Dはできただぜ。 **ケイティ**

電話相談員募集

あなたも相談員になりませんか。
電話相談員養成講座の研修参加に関する問合せは、常時受けつけております。事務局へお問い合わせください。

（事務局）つくば TEL 029 - 852 - 8505（平日 9 時～17 時）
FAX 029 - 852 - 8355
水戸 TEL 029 - 244 - 4722（平日 12 時～17 時）
FAX 029 - 350 - 1055
ホームページ <http://www.iid.or.jp>

受信状況

1985 年 6 月 1 日～2018 年 9 月末現在

総受信件数

920,577 件

うち当期受信件数

（2018 年 6 月 1 日～2018 年 9 月末現在）

6,769 件

男 3,306 件 女 3,463 件

〈編集後記〉

今月号から「LGBT」を特集します。LGBT の人は、一説には日本に約 8% いると言われています。社会的少数者への理解と配慮が求められる時代なのではないでしょうか。ところで、今年は災害や事故、事件が多かったように感じますが、来年は穏やかな年であってほしいものです。

社会福祉法人
茨城いのちの電話

発行人 幡谷 浩史 編集 茨城いのちの電話広報委員会
事務局 〒305-8691 茨城県筑波学園郵便局私書箱60号 TEL **029-852-8505**
ホームページ <http://www.iid.or.jp> FAX **029-852-8355**

再生紙を使用しています

この広報紙は、共同募金からの配分金で作りました。

